

中国遼寧省におけるアカミミガメ販売事例と着色ガメ問題

山口達成¹・国松翔太²・伊藤克哉³

¹ 631-8505 奈良県奈良市中町3327-204 近畿大学大学院農学研究科

² 606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科

³ 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

Red-eared sliders (*Trachemys scripta elegans*) sales cases and colored turtle problems in Liaoning Province, China.

By Tatsunari YAMAGUCHI¹, Shota KUNIMATSU² and Katsuya ITO³

¹ Graduate School of Agriculture, Kindai University, 3327-204 Nakamachi, Nara 631-8505, Japan.

² Graduate School of Science, Kyoto University, Kitashirakawa-oiwakecho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan.

³ Biological Course, Faculty of Science, University of the Ryukyus, 1 Senbaru, Nishihara, Nakagami, Okinawa 903-0213, Japan.

はじめに

ミシシッピアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* (以下、アカミミガメ)は北アメリカ原産の淡水性のカメであり、日本をはじめとした世界各地に輸出されている。中華人民共和国(以下、中国)において本種は1986年から輸入されており、現在では大量に販売・飼育されている(Shi et al., 2008)。中国(特に南部地域)において淡水ガメは、伝統的な漢方薬(TCM)や健康剤、食材、愛玩動物などに利用されており(Cheung and Dudgeon, 2006)、世界で最も利用されている国の1つであると言われている(Ades et al., 2000)。2018年9月初旬、筆者らは中国東北部遼寧省(Liaoning Province)に位置する丹東市(Dandong City)と撫順市(Fushun City)を訪れた際(図1)、本種が販売されているのを目撃した。本記録では販売時の状況、販売価格(1元=16.5円で計算)と個体数、大きさや健康状態を報告する。

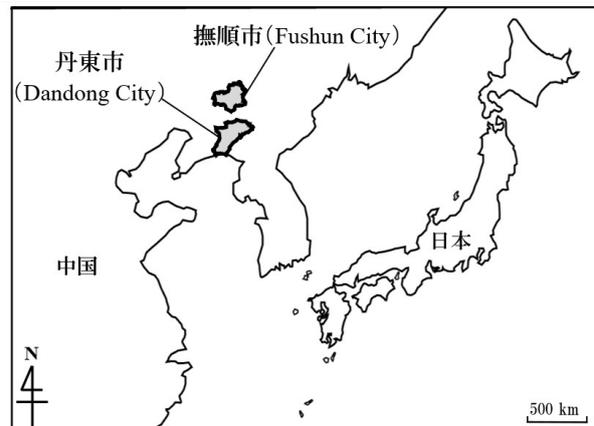


図1. アカミミガメを目撃した遼寧省の2市

丹東市での目撃例 ～川沿いの露店にて着色ガメ～

2018年9月1日夜、筆者らは中国の丹東市と朝鮮民主主義人民共和国(以下、朝鮮)の新義州市(Sinuiju City)を繋ぐ中朝友誼橋(図2A中の左側)と鴨緑江断橋(図2A中の右側)の付近を散策していた。中朝友誼橋には道路や線路が通っており、中朝交易の重要な陸路として利用されている。また、赤くライトアップされた鴨緑江断橋は、朝鮮戦争時に橋の中央部から朝鮮側が破壊され、歴史的遺産として今も保存されている。2つの橋の周囲には数多く朝鮮の物産を扱う露店が出店され、それを目的とした多くの観

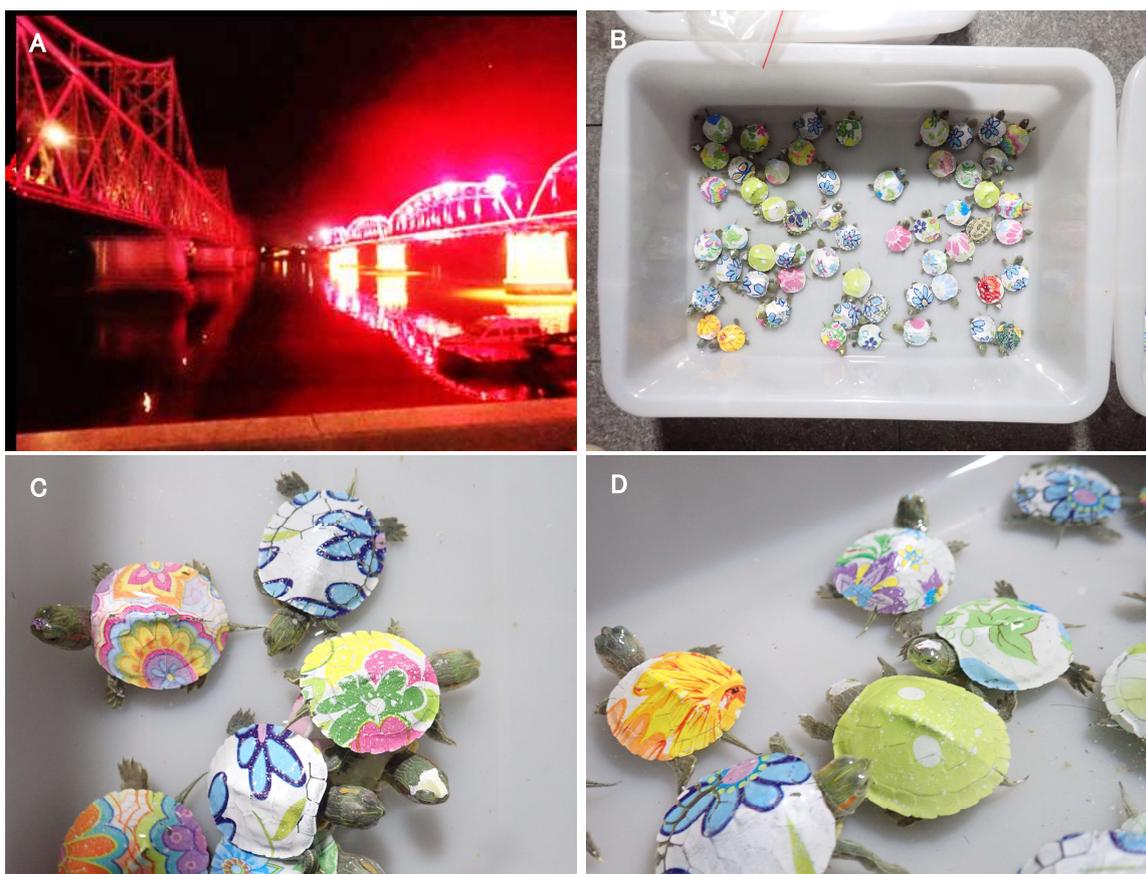


図2. 露店にて販売される着色ガメ (A: 中朝友誼橋(左)と鴨緑江断橋(右), B: 販売時の着色ガメの様子, C: 鮮やかな花柄模様が着色されたアカミミガメ幼体, D: 草木や水玉なども描かれたアカミミガメ幼体)

光客で賑わっていた。露店の中にはインコなどの愛玩動物を扱う店も何店か見られ、うち1店からアカミミガメの販売を確認した。

1匹あたり5元(約82.5円)で販売され、180匹程度が白トレイ1枚につき50~60匹ずつ入れられていた(図2B)。個体の大きさは、背甲長CL(Carapace Length)約30~35 mmであり、背甲部に様々な絵柄が描かれていた(図2C)。使用色は鮮やかな色が多く10色以上、模様は花柄が多いが水玉模様なども描かれていた(図2D)。個体の健康状態は普通であったが、一部の個体に対しては頸部の体色が通常よりやや薄く、健康不良であると考えられた。

撫順市での目撃例 ～ペット市場にて～

9月10日昼。我々は丹東市から約200キロ北の撫順市にある撫順花鳥魚寵物市場と呼ばれる多数のペットショップが集まる市場に立ち寄った(図3A)。市場は広く、魚類・爬虫類・鳥類・植物などの多様な生物を扱う店舗があり、うち1店舗で大小さまざまな大きさのアカミミガメが販売されていた(図3B)。

この店舗における販売サイズ・価格・販売量は、CL 30~40 mm程度の小サイズが1匹5元(約82.5円)で20匹程度(図3C)、CL 100~120 mm程度の中サイズが1匹10元(165円)で50匹程度、CL 150~200 mm程度の大サイズが1匹100元(1650円)で10匹程度販売されていた。この店舗では、アカミミガメ以外の淡水性ガメ類としてクサガメ*Mauremys reevesii*、ワニガメ*Macrochelys temminckii*、ハナガメ*Ocadia sinensis*、ヨコビガメの一種*Podocnemis sp.* が販売されていた。大型のアカミミガメは、甲羅部分が湾曲するクル病の症状が確認でき、管理状態はあまり良いとは感じられなかった(図3D)。



図3. 撫順市でのペット市場の様子。(A:市場の外観. B:大きさ別に異なる容器で販売されるアカミミガメ. C: 他種の子亀と同様に桶で管理されるアカミミガメ幼体. D: 甲羅部が湾曲したアカミミガメ)

愛玩動物として子供に人気

丹東市にて筆者らが目撃したアカミミガメは、背甲部が着色されていた。これはかつて1990年代の日本国内で流行した「カラーひよこ」を彷彿させる。中国のネット新聞 深圳晚报では2019年3月9日付の記事で、以下のように述べられている。

深圳では着色されたアカミミガメが数多く存在し、インターネット上で月に最大8000匹を売り上げる店もある。しかし、カメへの着色に利用する塗料は化学染料が利用され、甲羅の腐食を引き起こす原因となる。カメに対する着色行為は市民も非人道的行為であると認識してはいるものの、これを法的に取り締まることはできないようである。(深圳晚报, 2019)

買い手もアカミミガメに対する着色行為を良くないことであると認識してはいるものの、直接的に着色ガメの販売を規制することはできないようである。

おわりに

近年、日本国内で愛玩動物として、アカミミガメを販売する店を見かけることは少なくなったように感じる。実際、アカミミガメの日本国内への輸入量は現在どれほどであろうか。財務省貿易統計を利用し、米国からの「かめ目」の輸入数を調べてみた。2002年に約64万匹であった輸入数は、2006年には約27万

匹, 2018年は約3万5千匹まで減少していた。筆者が日本国内でアカミミガメの販売が近年少なくなっていると感じていたのは, 貿易統計による輸入数の減少からも事実のようである。

今回筆者らが訪れた中国東北部の遼寧省2市では, アカミミガメがTCMや食材としてではなく, 愛玩動物として販売されていた。仮にこれらが野外へ逸失, 遺棄されれば在来生物との競合や農林水産業へ悪影響を及ぼす恐れがある。

引用文献・出典

- Ades, G., Banks, C. B., Buhlmann, K. A., Chan, B., Chang, H. C., Chen, T. H., Crow, P., Haupt, H., Kan, R., Lai, J. Y., Lau, M., Lin, H. C., and Shi, H. T. 2000. Turtle trade in Northeast Asia: regional summary (China, Hong Kong and Taiwan). In *Asian Turtle Trade: Proceedings of a Workshop on Conservation and Trade of Freshwater Turtles and Tortoises in Asia*, van Dijk, P. P., Stuart, B.L., Rhodin, AGJ (eds). Chelonian Research Foundation: Lunenburg 52—54.
- Cheung, S. M., and Dudgeon D. 2006. Quantifying the Asian turtle crisis: market surveys in southern China, 2000–2003. *Aquatic Conservation* 16(7):751—70.
- 深圳晚报. 2019. 彩色小乌龟轻易不要买[着色ガメ買うべからず]
「<http://sz.people.com.cn/n2/2019/0309/c202846-32722302.html>」(2019年7月1日閲覧).
- Shi, H., Parham, J. F., Fan, Z., Hong, M. and Yin, F. 2008. Short Communication Evidence for the massive scale of turtle farming in China. *Oryx* 42:147—150.
- 財務省. 2019. 貿易統計(税関ホームページ)
「<http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm?M=01&P=0>」(2019年7月1日閲覧).